

**ヒューマンウェアインターンシップ**  
**インターンシップ(長期・短期)・海外インターンシップ(長期・短期)**

**目的と概要**

- 自らで考えた目的意識を明確に持ち、企業または研究機関等で一定の期間実施体験を行うことで、融合領域研究によるイノベーションにつながる新しい業界・企業・研究分野についての知識及び実践的な能力を身に着ける。

**内容**

- 国内外の長短期、どれか一つを履修することが必須。
- 期間(インターン先への最初の出勤日から、インターン先での最終の出勤日まで)
  - 国内:短期 3 か月で 2 単位、長期 6 か月で 4 単位
  - 海外:短期 1.5 か月で 2 単位、長期 3 か月で 4 単位
  - 4週間で1ヶ月とみなす
  - 阪大にいながらの準備・事後活動の期間も3分の1以内は含めてよい
    - 例えば海外短期は 1 か月の渡航と半月の準備・事後活動などが可能
  - 事情に応じて、活動期間が連続していてもよい
    - 原則として、2回の合算を限度とする。
    - 下記プロセス3などで、不連続活動が認定されること。
- 費用援助
  - 国内の場合は、下記、費用補助細則に定めた額が補助される。
  - 海外の場合は、年度ごとに HW 海外連携委員会が定めた費用が補助される。
  - 原則として費用援助は一回の期間に限る。
    - 特別に理由がある場合、金額も含めた状況により、二回までのサポートを認めることもある(海外短期派遣によって援助を受けた渡航との合算は不可)。
- インターン先の種類
  - 海外または国内の、企業または研究機関
  - 大学など教育機関が提供する短期集中型教育プログラム等
  - その他、状況により認定する
- インターン先を探す枠組み
  - ヒューマンウェア提供型
    - HW 産学連携委員会や Clic などの紹介、短期集中型教育プログラム等
  - 自主応募型
    - 研究科提供枠、指導教員の紹介、履修生本人によるもの
  - その他、状況により認定する
- 成績
  - レポートによる評価。素点ではなく可否とする。
- 具体的プロセス(申請書と報告書には指導教員による認定が必要)
  - 1. 履修する
    - H26 年度は、履修の先取りを認め、H27 に単位を取得させる。(別途履修申請)
    - H27 年度以降は、履修の先取りも、その年度内に履修する。(別途履修申請)
  - 2. インターン先の決定
  - 3. 申請書提出(様式や提出先は別に連絡する)
    - 海外インターンの場合は HW 海外連携委員会により運営。
    - 企業の場合は HW 産学連携にも転送される。
    - 状況により事後提出を認める場合もある(別途履修申請)。
  - 4. 実施
  - 5. レポート提出(様式や提出先は別に連絡する)

## インターンシップ費用補助細則（国内）

### 趣旨

- 補助金額は国立大学法人大阪大学旅費規則をもとにして決定する。
- インターンシップ先からの費用援助が無い項目に対して適応される。
  - ・ 二重補助は受けられない。

### 支給額の算定

- 移動日
  - ・ 阪大からの交通費： 規定額
  - ・ 日当(食費・現地交通費)： 規定額
  - ・ 宿泊費： 規定額
    - ※ 移動日とは、大学を出発した日から目的地に到着する日までの期間、またその逆の期間のことを指す。
- 滞在中
  - ・ 日当(食費・現地交通費)： 実費額。日当規定の半額が上限
  - ・ 宿泊費： 実費額。宿泊規定の半額が上限(ただし予算状況によるので事前に要確認)。
    - ※ 機関付属の宿舎など、可能な限り安価にすること。

### その他

- 上記取扱いにおいて、定めのない事項についてこれを定める必要があるときには、別途協議のうえ、これを定めるものとする。

---

### 参考

#### 履修の手引きでの記載

- インターンシップ(長期、短期)(Internship (Long Term, Short Term))
  - 選択必修: インターンシップ(長期、短期)A/B、海外インターンシップ(長期、短期)A/Bから1科目以上の修得が必須
  - 開講学期: 3年次通年、4年次通年
  - 曜日時限: 集中講義
  - 講義の概要(予定): 国際的な企業または研究機関へのインターンシップを実施する。インターンシップの期間は、長期で6ヶ月以上、短期で3ヶ月以上とする。
- 海外インターンシップ(長期、短期)(Overseas Internship (Long Term, Short Term))
  - 選択必修: インターンシップ(長期、短期)A/B、海外インターンシップ(長期、短期)A/Bから1科目以上の修得が必須
  - 開講学期: 3年次通年、4年次通年
  - 曜日時限: 集中講義
  - 講義の概要(予定): 海外の企業または研究機関へのインターンシップを実施する。インターンシップの期間は、長期で3ヶ月以上、短期で1ヶ月半以上とする。

#### 大学でのインターンの位置づけ

- 本学では、インターンシップを「学生が在学中に教育の一環として、企業等で一定の期間行う職業体験及びその機会を与える仕組み」と定義付けています。インターンシップといっても、職業体験型(実際に仕事が経験できるもの)、課題解決型(あるテーマが与えられ学生で検討し発表するもの)、説明会型(座学)と内容はさまざまですので、目的意識を明確に持って参加することが大切です。業界・企業について知りたい、「働く」ことを経験して進路を考える材料にしたいなど、自分なりの目的を持って参加するようにしてください。
- インターンシップの期間もさまざまです。期間が短い場合、「働く」ことを経験することは難しく、説明会のような内容になることも考えられます。インターンシップはあくまでも目的を達成する手段です。インターンシップへの参加ありきではなく、他の活動の方が自分の目的に近づけられる場合もありますので、広い視点で考えてください。特に、学生の本分をおろそかにして、インターンシップに参加することのないようにしてください。